

# 下田市田牛地区における津波対策の方針

平成 30 年 10 月

静岡県・下田市

## 目 次

- 1 はじめに
- 2 地区協議会意見のまとめ
  - 2.1 津波対策の基本方針案
  - 2.2 津波対策の基本方針案の詳細
- 3 津波対策の方針（結論）

### （参考資料）

#### 参 1 津波被害想定

##### 参 1. 1 津波浸水想定とレベル 1 津波必要堤防高

#### 参 2 検討経緯

## 1 はじめに

地元町内会や関係機関・団体等の代表者で組織した「下田市津波対策田牛地区協議会」では、利害の異なる関係者間で話し合いを重ねることで、お互いに理解し合い、地区として最良であると考えられる津波対策を「下田市田牛地区における津波対策の基本方針案」として取りまとめました。

静岡県及び下田市は、この基本方針案を尊重し、地区の実情を踏まえた総合的な津波対策の方針である「下田市田牛地区の津波対策の方針」を作成しました。

静岡県及び下田市では、今後、本方針に基づき津波対策を推進していきます。

なお、本方針に記載の事業の実施にあたっては、予算の確保を含め国その他関係機関等との調整が必要となります。

## 2 地区協議会意見のまとめ

### 2.1 津波対策の基本方針案

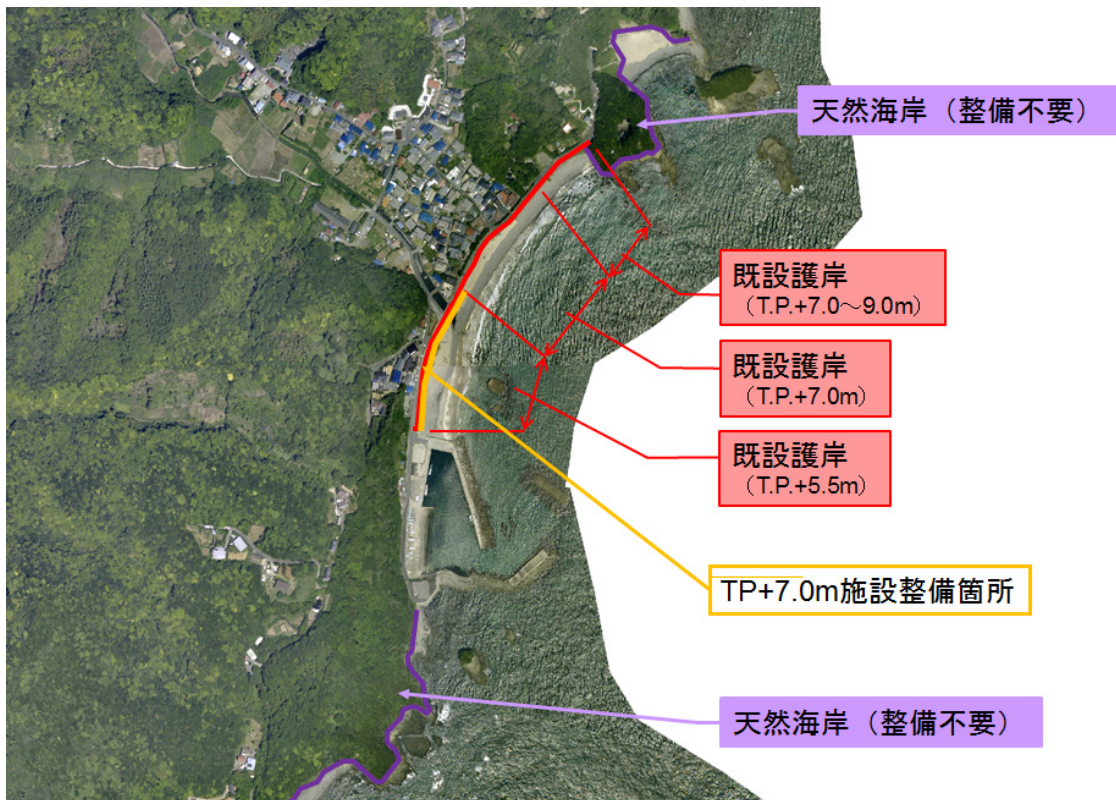
#### 【田牛地区】

- 最大クラス（レベル2）の津波に備えた住民や観光客の迅速かつ主体的な避難を可能とするための施設整備やソフト対策、啓発活動を推進する。
- 比較的発生頻度の高い津波（レベル1）に対しては、堤防嵩上げ整備を実施する。ただし、施設整備にあたっては、観光産業を中心とする当地区の特性に鑑み、景観へ配慮した構造、外観とする。
- これらの津波対策については、将来のまちの姿を描きながら、その方向性に逸することの無いよう、地区・県・市・関係機関が協力して実施していく。

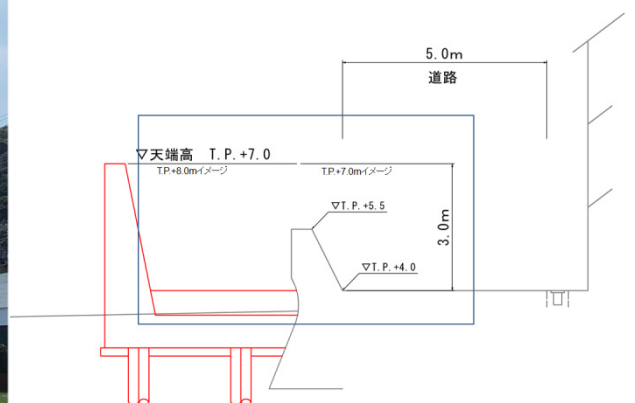
なお、静岡県地震津波被害想定等が見直された場合は、上記基本方針案についても、適宜見直すものとする。

## 2. 2 津波対策の基本方針案の詳細（下田市田牛地区）

田牛地区では、沿岸部での必要堤防高は T. P. +11. 0m であるが、景観等へ配慮し、家屋の最大浸水深が 2. 0m 以下となるために必要な堤防高さ T. P. +7. 0m の津波対策施設を沿岸の既存堤防前面へ設置する。



田牛地区における津波対策施設設置位置



津波対策施設設置イメージ

### 3 津波対策の方針（結論）

静岡県と下田市は、下田市津波対策田牛地区協議会でとりまとめた「下田市田牛地区における津波対策基本方針案」をもとに、「下田市田牛地区の津波対策の方針」を作成しました。

この「下田市田牛地区の津波対策の方針」は、地区の実情等を最大限に反映するとともに、津波対策静岡方式推進検討会による検討も踏まえて、作成したものです。

#### 下田市田牛地区の津波対策の方針

##### 1) レベル1 津波に対する施設整備について

- ・ 下田市（田牛漁港海岸管理者）は、田牛地区において地区合意高（T. P. +7.0m）により津波対策施設の整備を実施することとし、整備にあたっては、観光業を中心とする当地区の特性に配慮した構造、外観とする。

.

##### 2) 避難について

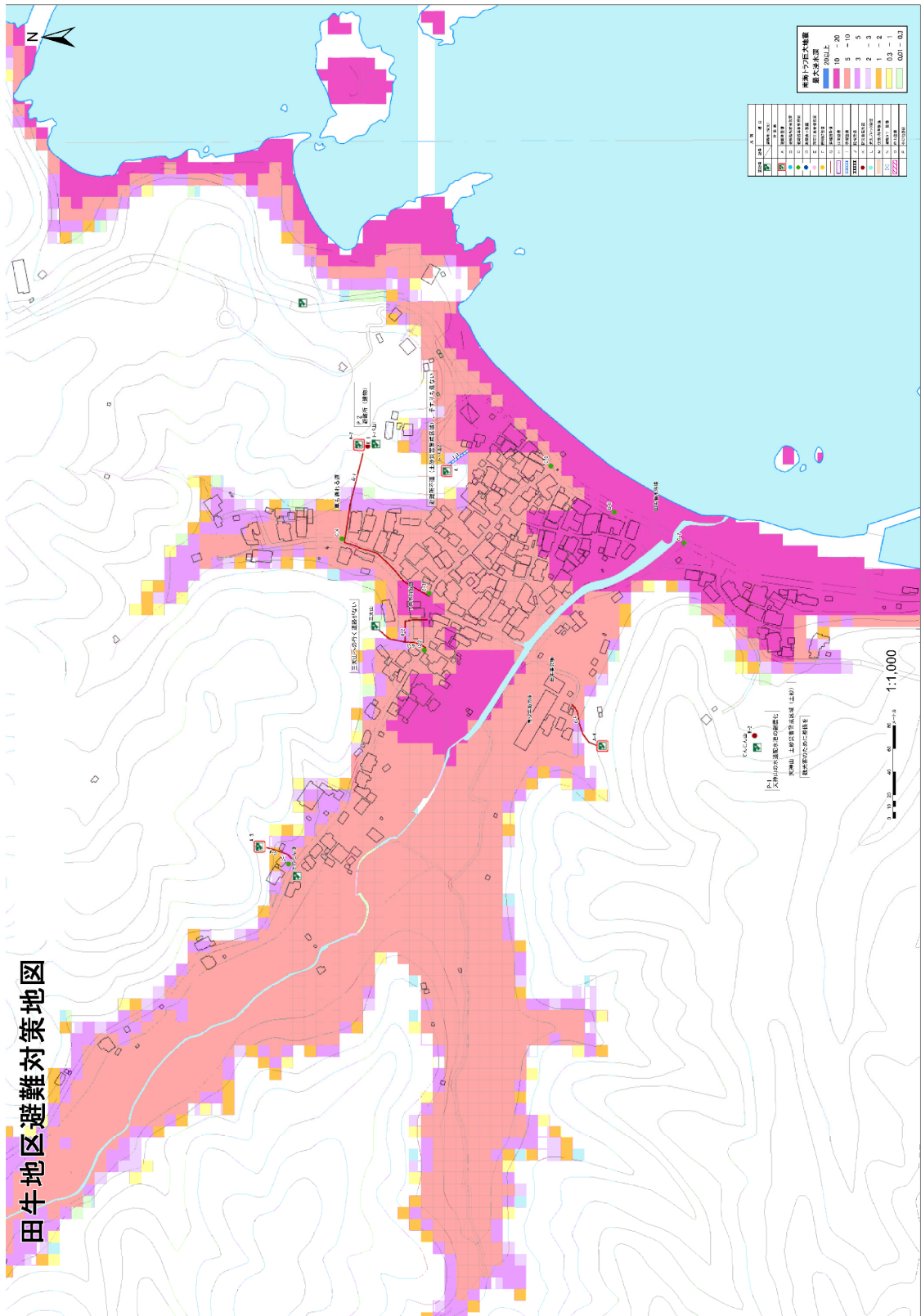
- ・ 下田市は、最大クラス（レベル2）津波に対し、住民や観光客の迅速かつ主体的な避難を最重要の対策と位置付け、下田市の津波避難計画に基づく避難を後押しするソフト対策を推進する。なお、ソフト対策の内容や優先順位の考え方については、「田牛地区の津波対策の基本方針案」の別表を参考とする。

##### 3) その他

- ・ これら津波対策は、地区、県、下田市、関係機関が協力し、着実に実施していくとともに、今後も継続してソフト対策等を検討していく。
- ・ 静岡県の地震津波被害想定等が見直された場合は、この方針についても適宜見直す。

課題		担当	短期的対策（5年以内）	中期的対策（10年以内）	長期的対策	備考
避難路	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難地までの安全確保</li> <li>・避難路の安全確保</li> </ul>	市及び 自主防 自主防	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難路の整備 (G-2~G-5)</li> <li>・幹線道路から高台への避難路</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難路の整備 (G-1)</li> <li>・多方面からの避難路整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短期的対策は、静岡県からの交付金対象</li> </ul>
		市及び 自主防	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難路への手回りの整備 (I-1)</li> <li>・既存避難路への誘導 (安全対策)</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・短期的対策は、静岡県からの交付金対象</li> </ul>
避難路 (標示)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難場所の周知不足</li> <li>・観光客対策</li> </ul>	市及び 自主防	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難誘導看板(標識)の設置 (C-1~C-2, G-5~G-7)</li> <li>・幹線道路から避難地への誘導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難誘導看板(標識)の設置 (C-3~C-4)</li> <li>・幹線道路から避難地 (G-1) への誘導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・C-2, 5, 7: 整備済み</li> <li>・短期的対策は、静岡県からの交付金対象</li> </ul>	
避難地	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難地で長時間滞在せざるを得ない状況への対応不足</li> </ul>	市及び 自主防	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然高台を利用した避難地の整備</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・A-1, 2: 整備済みであるが、既存避難地の拡張及び機能向上を目標</li> <li>・短期的対策は、静岡県からの交付金対象</li> </ul>
		市及び 自主防	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難地への防災倉庫整備 (K-1~K-2)</li> <li>・避難地での足止めを想定した備蓄</li> </ul>			
		市			<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難地の上下水道配水池の耐震化 (P-1)</li> <li>・避難地での飲料水の確保</li> </ul>	
		市及び 自主防			<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難地 (G-1) への避難所の整備 (P-2)</li> </ul>	

田牛地区の津波対策の基本方針案（別表）



田牛地区の津波対策の基本方針案（別図）



(参 考 资 料)

## 参 1 津波被害想定

### 参 1. 1 津波浸水想定とレベル 1 津波必要堤防高

#### 【田牛地区】

平成 27 年 6 月に公表された駿河・南海トラフ沿いで発生する地震動と津波浸水想定において、レベル 1 津波（5 地震重ね合わせ）の最大浸水深図を図 1 に示した。

また、レベル 2 津波（南海トラフ沿いの最大クラスの地震）の最大浸水深図を図 2 に示した。

なお、レベル 1 津波に対する必要堤防高は T. P. +11. 0m である。レベル 2 における平均津波高は T. P. +15. 0m、最高津波高は T. P. +22. 0m である。

【田牛地区】

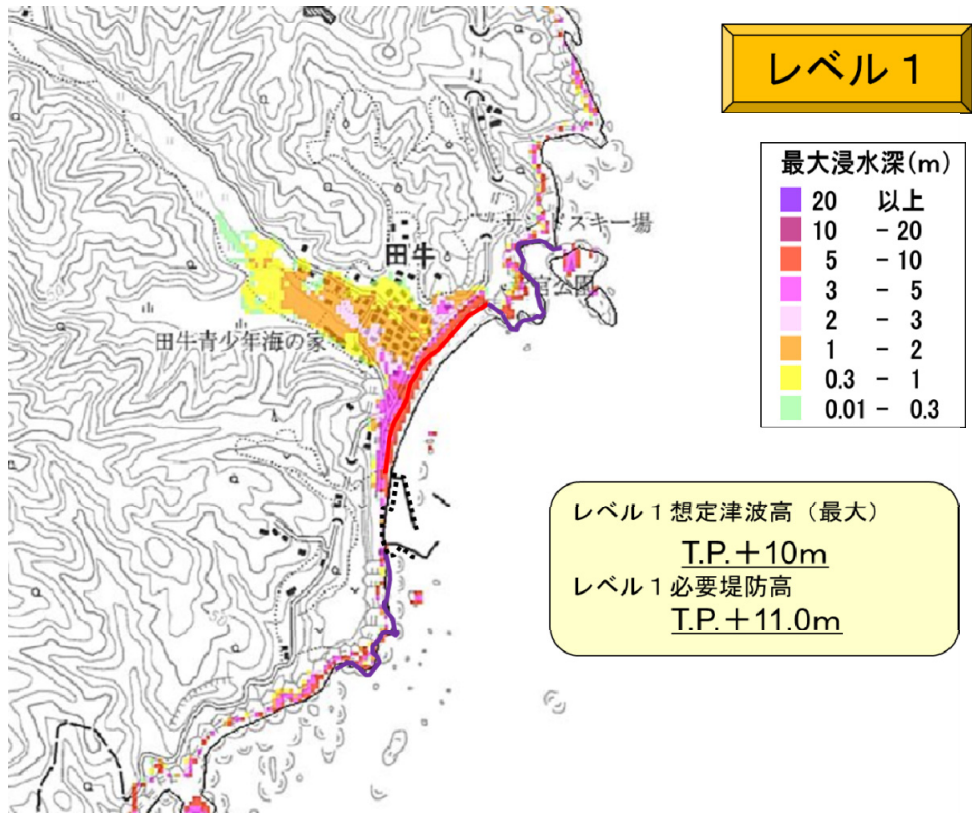


図 1 田牛地区 5地震重ね合わせ (レベル 1) 最大浸水深図

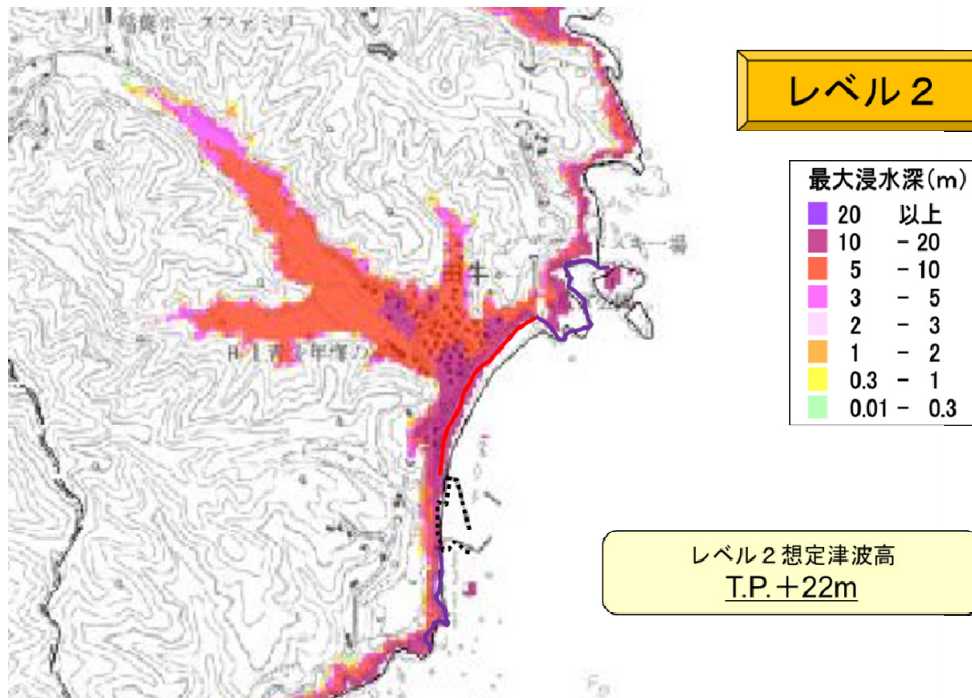


図 2 田牛地区 南海トラフ沿いの最大クラスの地震 (レベル 2) 最大浸水深図

## 参2 検討経緯

### 【田牛地区】

田牛地区では地区協議会設置に先立ち、平成27年7月9日に下田市で津波対策講演会が開催された。平成27年10月9日に第1回の「下田市津波対策田牛地区協議会」を吉佐美地区と同時に開催し、会長を田牛区長、副会長を田牛区理事とした。

その後、計7回の地区協議会と1回住民説明会を開催し、津波対策についてハード・ソフトの両面から検討を行い、最終の第7回で事務局から「〔下田市〕津波対策検討会田牛地区協議会における津波対策について（ソフト対策）」を掲示し、ハード対策については、再度、平成29年12月3日の防災訓練時に住民説明会を行い、平成30年4月29日の区総会で基本方針案がまとまった。

#### ・地区協議会

##### ① 構成

② 会長	田牛区長（兼自主防災会長）
副会長	田牛区長理事
メンバー	対象自治会（全1区）の代表者（区長、区長代理、防災委員）
	田牛観光協会、伊豆漁業協同組合、田牛海老網組合、田牛船主会
	下田市（建設課、地域防災課（現在の防災安全課）、観光交流課、産業振興課）
	静岡県（下田土木事務所、賀茂振興局（現在の賀茂地域局））
事務局	静岡県下田土木事務所、下田市産業振興課

##### ③ 開催状況（出席者に下田市・静岡県関係者は含まず、第1回は吉佐美地区と合同で開催） また、平成27年7月9日に下田市で津波対策講演会が開催された。

回	開催日・場所	出席者	概要
1	平成27年10月9日	6名	地区協議会の目的と津波対策の進め方
	朝日小学校体育館		第4次地震被害想定と白浜地区の現状
2	平成27年12月10日	7名	第1回意見について
	田牛区集会所		施設整備検討(案)とその効果
3	平成28年2月9日	6名	施設整備検討(案)とその効果
	田牛集会所		*暫定高さTP+8.0m
4	平成28年3月16日	6名	施設整備検討(案)とその効果
	田牛集会所		*暫定高さTP+7.0m
5	平成28年10月6日	7名	施設整備に対する意見確認
	田牛集会所		避難施設のワークショップ
6	平成29年2月9日	6名	施設整備に対する各組の意見確認
	田牛集会所		避難対策のワークショップ
7	平成29年10月18日	8名	施設整備方針決定に向けた進め方
	田牛集会所		*住民説明会后、区意見集約、総会で決定



第1回地区協議会風景



第2回地区協議会資料説明



第3回地区協議会資料説明



第4回地区協議会住民説明会報告



第5回地区協議会前回協議会のまとめ



H28. 12月 現地説明風景



第6回地区協議会協議風景



H29. 3月 住民説明会



第7回地区協議会協議風景



H29. 12 月 住民説明会